

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス事業所さくら

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|-----|----------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 2 | 他施設を活用している | 空間を区切ったり、個室を使用したりして、子どもたちに合わせた環境になるように工夫していきます 必要な時は、地域の資源を活用していきます |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | 1 | 以前よりも子どもの数は増えているが、職員の数は減っている | 職員の配置基準は満たしています また、子どもたちの特性やグループに応じて職員の配置数を変えています |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 8 | 0 | 車椅子用トイレを使用している | スロープや段差の無いトイレを使用しています |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 7 | 1 | | 職員間でミーティングをする中で、目標や振り返りについて共有していきます |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | 0 | | アンケート結果を元に、職員間で話し合いを行っていきます |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | 1 | | 事業所のホームページにて公開していきます |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 4 | | 第三者委員会は設置することができていません |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | 0 | | 引き続き、必要な研修の機会を確保していきたいと思えます |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | | 子どもたちの得意なところをもっと活かせるような計画になるよう、職員や保護者と話し合い、計画を作成していきます |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 2 | 評価キットをもっと活用したい | 客観的な評価ができるようにしていきます |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | 0 | | チームで活動プログラムを考えていきます |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | 0 | | 季節に応じた活動や、様々な経験ができるように配慮していきます |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 7 | 1 | 長期休暇中になると中々バタバタしていて、細かに設定は出来ていない | 支援時間や子どもたちの状況に応じて、設定を工夫していきます |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | | 必要に応じて活動を変化させていきます 状況に応じた計画を作成していきます |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 0 | | 支援の内容や役割分担を活動予定の用紙に記入しておき、ミーティングで確認していきます |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | 0 | | 支援の振り返りを行い、情報共有や支援の見直しを図っていきます |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | 0 | | 支援の記録を元に、支援計画を評価し、目標を考えていきます |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 0 | | 定期的なモニタリングを行っていきます |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | | 基本活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成していきます |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス事業所きらり

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|--|----|-----|---------|--|
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | 0 | | 担当者が参加できるようにしていきます |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 8 | 0 | | 学校との情報共有や連絡調整を行っていきます |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 4 | 2 | 対象児なし | 現在、対象児童の利用はありません |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 8 | 0 | | 見学や情報共有を行っています |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 8 | 0 | | 申し送りなどを通して、事業所での支援や様子について伝えていきます |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 8 | 0 | | 年に数回訪問していただき、職員研修を行っていきます |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 4 | 4 | | 地域の公園や校庭などで、きらり以外の子どもと関わり遊べる機会を設けていきます |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 8 | 0 | | 自立支援協議会へ参加していきます |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | 0 | | 送迎時や面談時などでお話する中で、共通理解ができるようにしていきます |
| 保護者への 説明責任等 | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 6 | 2 | | 保護者から相談を受ける中で、関わり方について一緒に考えていきたいです |
| | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | 0 | | 契約時やその都度お伝えしていきます |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | 0 | | 相談しやすい関係を築いていきます |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 8 | 0 | | 保護者会や乗馬会を通して、保護者同士の交流ができるように考えていきます |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | 0 | | 迅速に対応させていただきます |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | 0 | | きらりだよりやきらっとはーと展、ホームページなどを使用してお伝えしていきます |
| | 35 個人情報に十分注意している | 8 | 0 | | 個人情報については、鍵のついたロッカーにて管理するようにしています |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス事業所きらり

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|----|-----|---------|---|
| | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | 0 | | PECSや視覚的に理解できるものなど、その方に合わせた方法を活用していきます |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 8 | 0 | | 乗馬会など、イベントを行う際は地域にも向けて発信するようにしています |
| 非常時等の対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | 2 | | 策定してあるマニュアルを周知していきます |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | 0 | | 各災害に備えた避難訓練を実施していきます |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | 0 | | 虐待防止研修を行っていきます |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 8 | 0 | | 身体拘束について職員間で共通認識を図っていきます 必要な場合は保護者に説明をしていきます |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 2 | | その都度保護者へ確認を行っていきます |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | 0 | | ヒヤリハット事例を振り返り、対応について考えていきます |